

シンポジウム 熊本県沿岸域再生の現状と展望

～研究集大成「八代海再生へのシナリオ」刊行の報告と討論会～

日時 : 令和元年8月19日(月)12時30分～16時40分

場所 : 熊本県立劇場大会議室

参加費 : 無料

定員 : 250名(先着順)

申し込み先 : 熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム HP 参照

<http://www.kumamoto-forum.com/index.html>

土木学会継続教育(CPD)プログラム認定 認定番号: JSCE19-0808 単位数: 3.7単位



プログラム

開会 挨拶 12:30～12:40

熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム議長 崎元達郎氏・NPO 法人みらい有明不知火理事長 滝川清氏

◆一部 12:40～13:30 刊行報告: 「八代海再生へのシナリオ」刊行報告

NPO 法人みらい有明不知火理事長 滝川清氏、理事 川岸寛氏

◆二部 13:40～16:40 討論会: パネルディスカッション「熊本県沿岸域再生の現状と展望」

第1セッション 13:40～15:00 「海の再生への取り組み事例」

・「環境省の取組」 環境省九州地方環境事務所環境対策課長 森奇幸氏

・「八代海及び有明海の再生に向けた熊本県の取組み」

熊本県環境生活部環境局環境立県推進課長 財津和宏氏

・「海洋環境整備船『海輝』『海煌』の取り組みについて」

国土交通省九州地方整備局熊本港湾空港整備事務所副所長 山口誠氏

・「球磨川河口域・汽水域におけるヨシ原の再生について」

国土交通省九州地方整備局八代河川国道事務所河川環境課長 山本恭裕氏

・「荒尾干潟の魅力を広げていくための取組」 荒尾市環境保全課副主任 中山和也氏

・「カニの胃袋から、海洋プラスチックゴミの問題を考える」

熊本県立岱志高等学校理科部 塚寄歩美さん・原田龍徳君・秋富健吾君・藤末改君、顧問: 松浦弘氏・小林奈都子氏

・「アマモ場造成に向けた農業気象学の役割～芦北高校林業科アマモ班との連携で始まる取組例」

株式会社アグリライト研究所代表取締役 園山芳充氏

・「干潟生物調査を通じた環境教育と地域興し」 ひのくにベントス研究所所長 森敬介氏

第2セッション 15:10～16:40 「パネルディスカッション」

コーディネーター「シンポジウムのねらいと海の再生について」

熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム顧問 古川徳太氏

